

臺北醫學大學看護研修 台北 2017/03/13-2017/03

石川和綺子、看護科学専修

渡航先での活動内容

現地学生との文化交流



臨床実習に参加



東洋医学、災害看護、母子保健などの講義を受ける



小児病棟の遊び部屋。
サムスンと提携してIT化
を進めている



病院、老人ホームなど健康
関連施設を訪問



グローバルな視点とは何か

- 看護×グローバル？
- 看護はグローバルと相容れない感じがあります。患者の基本的欲求を満たすのが看護の使命だとして、患者の基本的欲求には国の違いなんて無さそうだからです。
- けれども、看護の実際は結構違います。ここに看護を国際的視点で学ぶ意義があります。例えば台湾の妊婦は産後すぐに洗髪するのをタブー視します。これは座月子という文化習俗のためです。これは日本には知らないものの見方です。
- グローバル化のなかで来日する外国人が増え、来院する外国人も増えているといいます。文化の違いを学ぶことで、外国人がかかり易い医療を提供できるようになり、結果的に在日の外国人の健康改善に寄与できると考えます。

後輩へのアドバイス

- 2年生
- この研修は2年生に最適です。初めての臨床実習など、新鮮な体験がたくさんできます。そして全国に看護師の卵の仲間ができます。本学の看護コースが少人数で情報に乏しいため、勉強方法などを相談できるのは貴重です。先輩のお話を聞くことで、視野が広がるでしょう。
- 「看護に来たけど将来が良く分からない」という人は参加しましょう。

研修支援制度に望むこと

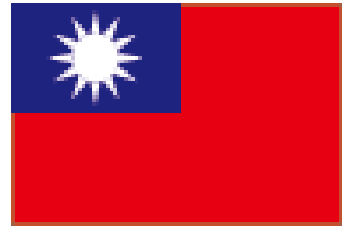
- 多くのグループが欧米に行き、「優れた看護」を学んでいます。多様性の観点から、アジアに行く学生が増えたら嬉しいです。

目的を達成できたか

- 目標①看護師のイメージを掴む⇒イメージできた。
- 目標②中国語をブラッシュアップする⇒専門分野を通じるにはまだ勉強が必要だった。

目的以外に学んだ点、反省点

中国と台湾の違いに気づかされた点

- | | | | |
|---|---|---------------------|---|
| 台湾 |  | 中国 |  |
| Line | | WeChat | |
| 注音記号(これが分らないと、カラオケで曲のリクエストができないし、パソコンも打てない) | | 拼音 | |
| 台湾人⇒距離が近い、雰囲気を大事にする | | 中国人⇒自立している、はっきりしている | |
| 南京と同じくらい中山に関する地名と施設があるのに、彼に対するイメージが中国と異なる。 | | 中山に関する施設や地名がたくさんある | |

将来の進路決定へどう影響したか

- 臨床実習で心肺停止患者の蘇生を目の当たりにしたことで、医療の道を選択したことに自信が持てた
- 中国語と英語を使える看護師がほとんどいないと分かり、そのスキルを自分の将来に活かそうと思うようになった。